

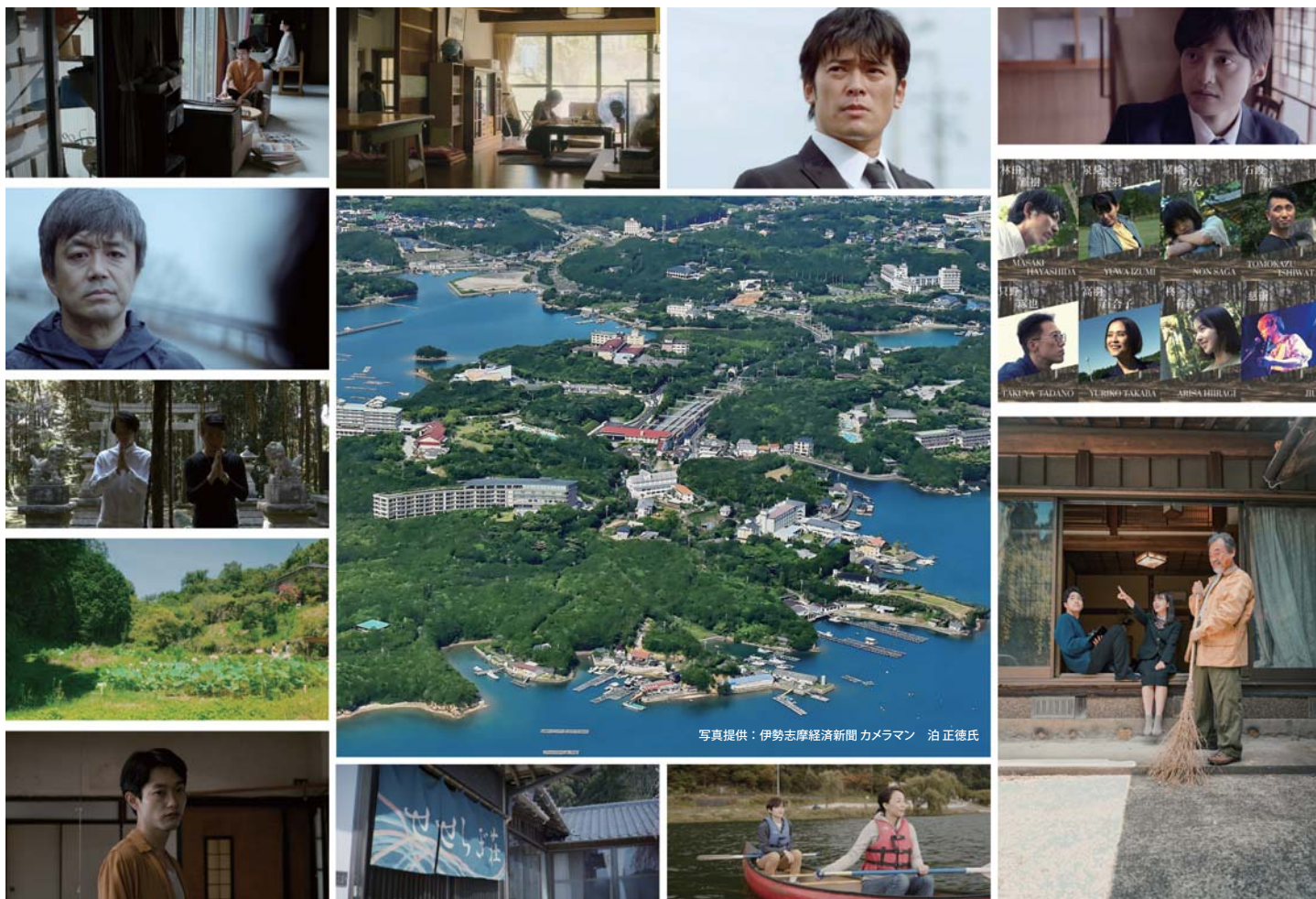
賢者が島にやって来る。

第9回 賢島映画祭

KASHIKOJIMA FILM FESTIVAL

日時：令和5年9月10日(日) 9:00～

会場：賢島宝生苑 コンベンションホール「華陽の間」



志摩ムービークルーズ

<https://shima-moviecrews.com/>

〒517-0604 三重県志摩市大王町船越 3287-9 (株式会社ヤマザキ 内)
TEL: 0599-72-2412 (9:00～17:00 土・日・祝日を除く)
e-mail: info@shima-moviecrews.com



賢島映画祭

【上映作品】

① 光る校庭 (9:00 ~ 10:12)



「人の死について考える智哉と大病を患ってしまった翼。二人が出会い、忘れられない夏を過ごす」
観た方の心が少しでも温かくなっていただきたく作った映画です。
是非ご覧ください。
比嘉一志 監督

④ そして目醒める (13:52 ~ 14:49)



主人公「板谷瑞貴」は、日々仕事に追われ精神が摩耗する中、傷心のうちに数年ぶりの帰郷を果たし、不可思議な少女「草槇紅葉」に導かれる。
紅葉を通じ、穏やかに過ごしていた日々を思い出しながら、周囲の想いを受け取り、瑞貴は自分の身勝手さと向き合うこととなる。
どんな時でも自身を想ってくれる誰かがおり、人はどんな時も繋がっている。そんな小さな繋がりに気づく物語。
池田剛 監督

② メモリドア (10:22 ~ 11:58)



サラリーマンの和也(27)は、令嬢との結婚も控え、安定した将来を迎えるだったが…、ある日、カフェで働く“バツイチ・子持ち・認知症”の、年上の令子(47)に一目惚れしてしまう。
それは、親への反発なのか? それとも—
加藤悦生 監督

⑤ あの日の伝言 (14:59 ~ 15:30)



東京でプロボクサーとして活動をしている修は年齢的な限界を感じていて試合を前に不安を感じていた。ある日、父親が倒れたとの報告を受け故郷に帰る事になった。意識のない父親を目の前にして今まで知らなかった真実を知る事となり…
遠藤健一 監督

③ にびさびの巣 (13:00 ~ 13:42)



東京で暮らす晴人は祖母の死をきっかけに変わりゆく人や街、時間の変化に戸惑いを隠さずいた。ある日、地元に住む姉の茜から祖母の家の取り壊しの連絡が入る。巣立った燕はまだ子供のまま、帰る場所を探していく。
岡田深 監督

⑥ せせらぎ荘 (15:40 ~ 17:37)



「3つの時代を生きる3人の人間。それぞれの歩み方は違えど、皆人生という道歩く。」
『人生』をテーマとした描いた本作品は、佐賀県唐津市を舞台に3つの時代が交差する壮大でありながら、最も身近な物語。
高山凱 監督

【審査員】



田中光敏
(映画監督、CMディレクター)



川島章正
(映画編集技師)



松澤一美
(スクリーンライター)



東友章
(プロデューサー)



光岡紋
(映画編集技師)



橋爪吉生
(志摩ムービークルーズ会長)

主催：志摩ムービークルーズ 協力：賢島宝生苑 特別協賛：(株)石吉組

後援：志摩市／志摩市教育委員会／志摩市商工会／(一社)志摩市観光協会／志摩青年会議所

伊勢志摩フィルムコミッション／三重映画フェスティバル実行委員会／松阪ケーブルテレビ・ステーション(株)

協賛：AIK(株)／小林塗装工業／志摩環境事業協業組合／(株)セレモ／(株)長福丸水産／(株)天白組／丸文工業(株)

(株)ヤマザキ／(株)三十三銀行／仲屋製材所／(株)ハワイ／(株)百五銀行／(株)山本建材／(株)ライフ

(有)あらふら丸商会／(株)イフミ電気／イワジン真珠(有)／(有)宮柴水工／(株)ハイパーコミュニケーションズ

伊勢志摩ビデオサービス(株)／岡山看板

志摩ムービークルーズ
Facebook

